

215. 土壌の違いが 水稲根圏における施肥窒素の挙動に及ぼす影響

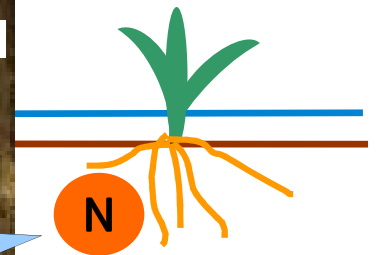


目的

栽培土壌学分野 横山 裕美



日本に存在する様々な水田土壌



土壌の違い によって
挙動が変動するのではないかと？

材料と方法

本実験では 土壌の違い として 以下のものに注目した。

土壌中の有機物量 : 全C量 全N量 易分解性有機物量

有機物の質 : C/N比(値が大きいほど難分解性質を意味する)



施肥: 移植30日後
重窒素ラベル硫酸
6mgN/pot

試料採取: 施肥21日後

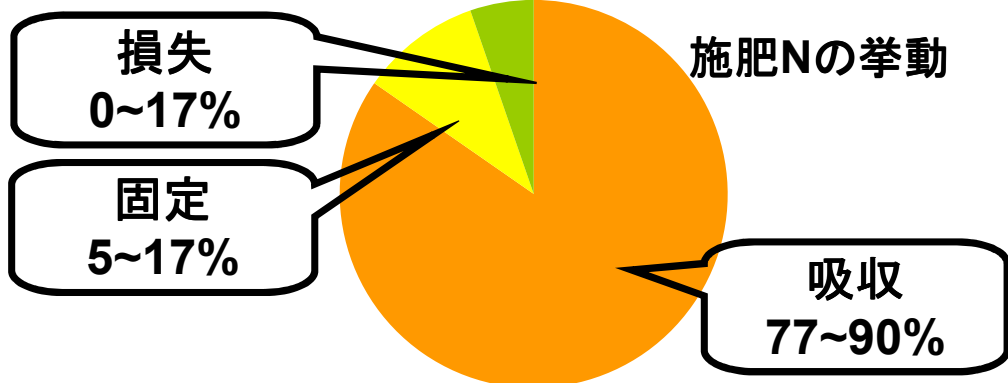
供試土壌: 東北地方の水田土壌から採取した39土壌。

50mlポットに45ml充填。

供試品種: はえぬき 稚苗3本植え。

結果

施肥Nの挙動に
影響を与える要因



	吸収	固定	損失
全炭素量	-0.07	-0.02	0.14**
全窒素量	-0.1	-0.07	0.25**
易分解性有機物量	0.00>	0.01	-0.01
C/N比	-0.11**	-0.13**	0.35**

**1%水準で有意な相関があることを示す。

まとめ

- ①水稲根圏における施肥Nの挙動は、土壌の違いによって変動する。
- ②施肥Nの吸収・固定には 土壌中の有機物の質、
施肥Nの 損失には 土壌中の有機物の量と質が影響している。